



	回転方向	
ウォーム軸回転方向	右回転	左回転
赤緯体回転方向	右回転	左回転
鏡筒が東側	北へ向く	南へ向く
鏡筒が西側	南へ向く	北へ向く

ウォーム軸はモータ歯車取付と逆端側から見た場合
赤緯体は、鏡筒取付面側から見た場合

NS-5000の子午線超え警告ON/OFFにかかわらず同じ結果になった（以下は子午線超え警告ONで動作確認）

- ・ NS-5000 Ver.6.30
- ・ 赤道儀NUP
- ・ プラネタリウムソフト:ステラナビゲータ10（以降は、SNと呼称）
- ・ ASCOM Telescope Driver for NS-5000 Ver. 1.01 2016/4/27
- ・ ASCOMに:Generic HUB経由で接続

鏡筒を西側にした状態での動作確認

	接続形態② Generic HUB経由でASCOM接続(サイド固定 無効)	接続形態③ Generic HUB経由でASCOM接続(サイド固定 有効)
手順1	東空の天体で同期	鏡筒を西側に認識させる
手順2	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:右回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常
手順3	SNで東空にある現在位置より北側の天体を導入	赤緯ウォーム軸:左回転 赤緯体:北へ移動 判定: 導入した天体の方向と赤緯体の移動方向が一致し正常
手順4	恒星時駆動のまま、子午線超えを待つ	
手順5	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:右回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常
手順6	SNで西空にある現在位置より北側の天体を導入	反対導入しないので導入するか確認画面⇒はい(反対しない(鏡筒は西側)) 赤緯ウォーム軸:左回転 赤緯体:北へ向く SNでの表示:北へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常 ★手順6で西空の天体を導入動作したことで、 手順5での 異常 (SNでの移動方向が実際と異なる) が解消
手順7	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:左回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常 ★手順6で西空の天体を導入動作したことで、 手順5での 異常 (SNでの移動方向が実際と異なる) が解消

鏡筒を東側にした状態での動作確認

	接続形態② ASCOM接続(サイド固定 無効)	接続形態③ ASCOM接続(サイド固定 有効)
手順1	東空の天体で同期	鏡筒を東側に認識させる
手順2	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:左回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常
手順3	SNで東空にある現在位置より北側の天体を導入	反対導入しないので導入するか確認画面⇒はい(反対しない(鏡筒は東側)) 赤緯ウォーム軸:右回転 赤緯体:北へ移動 判定: 導入した天体の方向と赤緯体の移動方向が一致し正常
手順4	恒星時駆動のまま、子午線超えを待つ	
手順5	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:左回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常
手順6	SNで西空にある現在位置より北側の天体を導入	確認なく導入(反対導入なし、鏡筒は東側) 赤緯ウォーム軸:右回転 赤緯体:北へ向く SNでの表示:北へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常 ★手順6で西空の天体を導入動作したことで、 手順5での 異常 (SNでの移動方向が実際と異なる) が解消
手順7	DEC3ボタンを押す	赤緯ウォーム軸:右回転 赤緯体:南へ向く SNでの表示:南へ移動 判定: 赤緯体動作とSNでの表示動作が一致し正常 ★手順6で西空の天体を導入動作したことで、 手順5での 異常 (SNでの移動方向が実際と異なる) が解消